

## 「海と港の陽と燈」フォトコンテスト入賞者発表

千葉の「海と港の陽と燈」をテーマに開催したフォトコンテストにご応募いただきありがとうございました。応募総数29点の中から入賞作品、海上保安部長賞3点、海上保安協会千葉支部長賞3点を決定したので、審査結果を発表いたします。

なお、選考審査においては、甲乙付け難い作品が多い中から、専門家のご意見を参考に海上保安官と海上保安協会の方々により選定させていただきました。

賞品については、準備ができ次第、順次発送いたします。

### 千葉海上保安部長賞（3点）



作品名 力強く朝日の海を照らす太陽と洲崎灯台  
作者 アオサ（ペンネーム）  
撮影場所 館山 北条海岸

#### 選考コメント

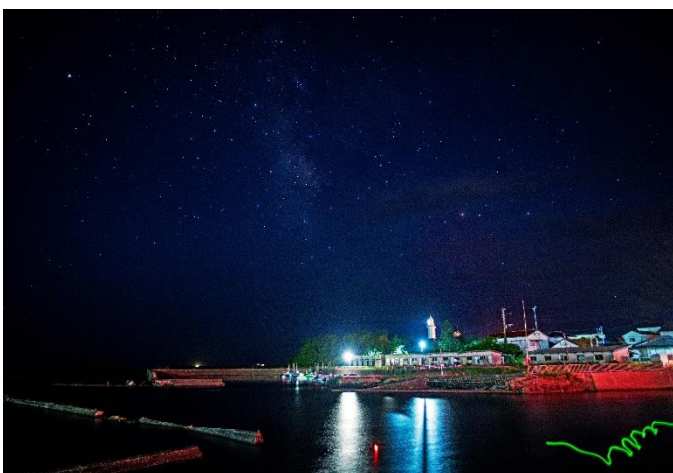
昼間の役目を終えようとする大自然の「陽」と東京湾の玄関口に建ち、毎日多く海人達を見守っている洲崎灯台が、今まさに夜の「燈」となって交代する絶妙なタイミングをダイナミックに表現され感動しました。



作品名 朝焼けの三番瀬  
作者 高山 信一  
撮影場所 船橋三番瀬海浜公園

#### 選考コメント

東京湾の奥深くにあって周囲は臨海商工業地帯と数多くの住宅が広がる三番瀬の早朝、遙か遠くの富士山に「陽」が射し始め、多くの生き物たちの息吹を感じさせてもらえます。



作品名 夜明け前の野島崎灯台  
作者 加州碧水（ペンネーム）  
撮影場所 南房総市白浜町野島港

#### 選考コメント

昼間に見られない星たちの光は「夜の陽」、一方人間の営みの中には、「燈（灯り）」だけでなく、様々な光が夜を創ってくれていることを感じさせてもらえました。

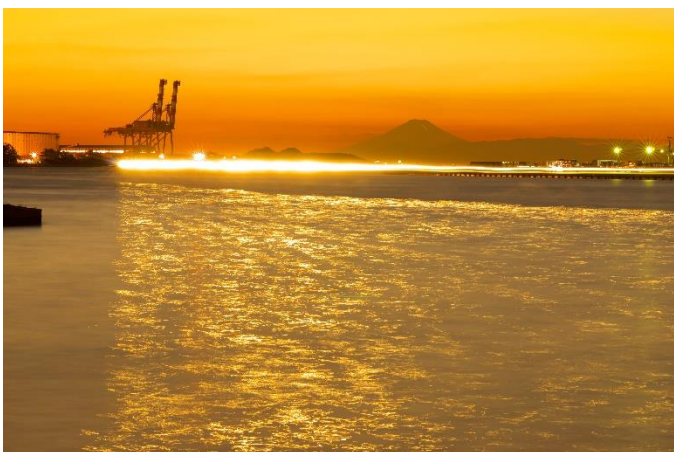
## 海上保安協会千葉支部長賞（3点）



作品名 館山湾花火大会  
作者 えりりん（ペンネーム）  
撮影場所 館山市（グリーンライン）

### 選考コメント

明と暗、静と動、轟音と歓声そして風下に流れて消える光の糸、3年ぶりの花火大会を切望した多くの人々の思いをも想起させる鮮やかな刹那の一瞬を感じさせてもらいました。



作品名 光の海  
作者 フジ rougaisha（ペンネーム）  
撮影場所 出洲港（蘇我港）

### 選考コメント

日々繰り返す1日の終わり、絶えざる人々の活動を見守り泰然とそびえる富士山を仰ぐ、残照と光跡に浮かび上がる、まるで富士山に畏敬を示すがごときガントリークレーンのシルエットが叙情を誘います。



作品名 宝石が輝く灯台  
作者 辻 俊介  
撮影場所 野島埼灯台

### 選考コメント

明治2年12月18日初点灯以来、震災や戦争の惨禍をくぐり抜け、行き交う船の道しるべとして灯し続けた単せん白光が沖合17海里に向けて、今まさに照射せんとする様をまざまざと捉えた1枚となっています。